

地震訓練 説明不十分で誤解

八幡浜市 越智 元郎(70)

◇1月中旬

に福島医科大

の放射線健康

管理学講座が

行った、四国

電力伊方原発

周辺地域での

聞き取り調査

に同行させて

いただいた。

◇違和感を

覚えたのは、

宇和海沿岸地

域の住民ら

が、大津波警

報が出ている

中で、あるい

は津波で道路

が損壊された

状態で、どう

やって被ばく

を避ければよ

いのかと懸念



響も受けないとされる。全電源喪失への対策も講じられている。それゆえに原発を稼働させているのではなかったか。

◇本県の原子力防災訓練は毎回、地震で発電所が損壊したという想定で行われている。原発を直撃する活断層型地震の危

険性はゼロではないが、宇和海沿岸に大津波をもたらす地震とはタイプが異なる。事実、県の訓練想定に津波の記載はない。として不十分であり、原発災害についてのメディアや住民の正しい理解を阻んでいるのではないか。

(医師)